

令和4年度 事務事業評価表 (令和3年度の実績評価)

記入年月日  
令和4年4月8日

事務事業名		被災住宅復興支援利子補給事業				事業区分			担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050202000777		
						単独/補助	補助	所属課	060201 都市整備課		
政策体系	総合計画の施策名	0502 景観の良い住環境の保全									
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり									
	施策名	02 景観の良い住環境の保全						課長名			
	手段名	02 ②定住・空き家支援の推進						グループ	都市政策G		
財務会計上の位置付け				事業期間							
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	08	04	01	02	00	都市計画総務事業				
法令根拠	桜川市被災住宅復興支援利子補給金交付要綱、桜川市被災住宅復興支援(利子補給事業)実施要領								期間限定複数年 (平成25年度~令和5年度)		
期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入											

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	(1) 事務事業の概要		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順						
	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順						
平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災者等で対象要件に該当する方が、指定対象金融機関(住宅金融支援機構・銀行・信用金庫・信用組合・JAバンク等)から融資を受けて、被災住宅の補修や被災住宅に代わる住宅の建設等を行う場合に、当該融資に係る利子補給金を交付するものです。平成23年3月11日以降であれば、既に融資を受けている方も対象となります。 <small>&lt;対象者要件&gt;市が発行する罹災証明書で大規模半壊・半壊・一部損壊の判定を受けた住宅(被災住宅)を自己又は親族が所有する方で、かつ、市税に滞納のない方。ただし、被災住宅を解体して被災者生活再建支援金を受給した方は除きます。 <small>&lt;利子補給率&gt;最大20%</small></small>		・市広報誌、市内金融機関等への周知広報活動 ・対象者要件の確認 ・申請受付 ・交付決定及び通知 ・交付事務							

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・市広報誌、市内金融機関等への周知広報活動 ・対象者要件の確認 ・申請受付 ・交付決定及び通知 ・交付事務	新規利子補給申請件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	継続利子補給件数	件	11.00	5.00	2.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
東日本大震災の被災者等で、融資を受けて被災住宅の補修等を行う者。	被災住宅の補修等を行う市民	人	11.00	5.00	2.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
融資に対して利子補給をおこなうことで、被災住宅の補修を促進する。	利子がなくなつたか、もしくは軽減された人数	人	11.00	5.00	2.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	43	23	12	
		県支出金	千円	433	120	8	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	45	23	13	
		事業費計(A)	千円	521	166	33	
	正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人	2.00人		

03年度事業費 実績(千円)				04年度事業費 予算(千円)			
18 負担金補助及び交付金	166			18 負担金補助及び交付金	33		
		合計	166			合計	33

事務事業名	被災住宅復興支援利子補給事業	事務事業No.	50202000777	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災をきっかけに開始された。 東日本大震災発生から10年が経過し、市内における被災住宅の補修は概ね完了したもとして新規受付はしていない。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 震災復興に係る事業であり、住環境の整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 激甚災害からの復興事業であるため国・県・市が公費を投入する必要がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 東日本大震災発生から10年が経過し、市内の住宅補修は概ね完了したもとして新規受付をしておらず、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 新規受付はしていないが、融資に対する利子補給は複数年にまたがるものであり、交付決定分が完了するまでは事業を継続する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 決定された補助率の中で利子補給をおこなうもので、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 天災は誰もが被害者になり得るものであり、それを救済する当事業は公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成30年度で新規受付は終了となり、令和5年度で交付事業は完了する予定である。																								
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上					維持			○		低下				
成果	向上維持低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持			○																							
低下																										
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>